



「よろしくおねがいします！」という挨拶をたくさんした4月でした。子ども達やお母さん、お父さん方はもとより、併用先である幼稚園保育所の先生方へのご挨拶、小学校の先生方への申し送りや放デイのお迎え等についての話し合いなど、これから様々な場面でお世話になる方々にご挨拶ができて、とても新鮮な気持ちになりました。

毎日あわただしいですが、信用信頼のある関係は、出会いの瞬間が笑顔になり、そこに気持ちよい風が吹きます。5月はそんな関係を深めていきたいと思います。子ども達の歩みをみんなで支え見守り喜び合っていけば、ちょっとしたつまずきも「オーケー、OK、大丈夫！」と蹴散らしていける。頑張るよりも、楽しく張り切っていくほうが、気持ちも身体もラクに進めます。

青空にも後押ししてもらって、気持ちのよい風と一緒に感じていきましょう。

—5月・6月の予定—

- 5月 17日 (水) ST (児童)
- 5月 23日 (火) 地域連携日 (児童・放デイ共にお休みです)
- 6月 2日 (金) ST (児童)
- 6月 15日 (木) 地域連携日 (児童・放デイ共にお休みです)
- 6月 29日 (木) ドクターNの医療相談



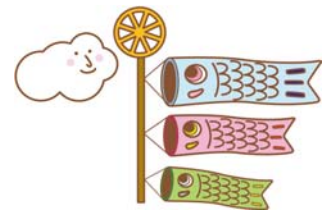
＝お知らせ＝

《年間予定表をお配りします》

遅くなりましたが、29年度の年間予定表をお配りします。

さぼねっと祭りは10月28日(土)に行います。今年も皆さん参加型のお祭りにしていきますので、内容は早めにお知らせしたいと思います。

8月のお盆休みによる休園日等の確認もよろしくお願いします。



《ドクターNの医療相談》

埼玉医大総合医療センター小児科の奈倉道明先生による個別医療相談を、6月29日(木)に行います。時間は14:00~16:00です。(一人30分枠 4枠)

まだ空きがありますので、是非積極的にご活用ください。

《いろいろ相談をしたくなったら…》

新年度一カ月が過ぎ、少し落ち着いて見渡せる時期になってきたかと思えます。「？」と思うこと、不安に感じる事、知りたい情報等、何かありましたら、遠慮なくお申し出ください。些細なことでも言葉にするだけで、スッキリするかと思えます。

マカロンクラスの4月あれこれ

4月は、大人も子どもも新しいことが盛りだくさん！
あっという間の一か月でしたね。

元気に登園してくれ、最初はドキドキ顔だったマカロンクラス。“あんなことができちゃうんだ”
“こんなふうに笑ってくれるんだね”と、大人も、きっと子ども達も、みんながお互いの様子を見ていた4月だったと思います。

5月はとても気持ちの良い季節ですね。マカロンクラスの中にも、それぞれのペースで、気持ちのよい空気が流れたら素敵だな、と思います。



フリンクラスの4月あれこれ

フリンクラスがスタートして1か月、
部屋が替わったり、職員も代わり、一緒に過ごすメンバーも代わり、
それぞれ変化があった4月!! その変化に気づきドキドキしていた子ども達。
きっとお母さん達も職員もドキドキでしたよね？

そのドキドキも、だいぶとれてきているなど感じているところです。

新しく、写真の出席カードを導入すると、「あれ?」「なんだ?」とくぎ付けに!! 前にいる職員を
通り越す視線に笑ってしまうほど! 自分のこと、友達のことを、写真のカードからも意識してくれる
ことが嬉しいなと思っています。

これからどんな姿を見せてくれるのか、楽しみにしています。



保育所等訪問支援の4月

新年度、まずは4人の子ども達があんずの訪問支援を利用します。訪問するのは2カ所の保育所
です。ここで改めて、保育所等訪問支援の紹介をします。保育所等訪問支援とは、あんずには直接
通わず、スタッフが幼稚園や保育所等に月2回程度、2~3時間訪問する支援の形です。その子の
クラスの中に入って、時には遠くから見守り、時には隣に付いて、集団の中で
上手く過ごさせていけるように支援していきます。

その子の行動の意味や“困っていること”は何?という視点で、園の先生方と
話し合い、子どもの姿の理解を深めていくと共に、働きかけ方の工夫を一緒に
考えていきます。訪問後、お母さんに報告し、お家での様子や思いを伺いながら、
次回に繋げていきます。

昨年度からの継続の子は、新しい先生、新しい環境の下で、いつものことをいつものようにでき
ているかな?という視点で。これから訪問支援を始める子は、まずは、集団の中でいちばん好きな
ことは何かな?という視点で会ってきたいと思っています。



☆☆お礼☆☆

送迎車用に掃除機をいただきました。これからよりキレイなクルマでみんなをお迎えに
行けます。募集していた“うちわ”もたくさんいただきました。子ども達の遊びで役立て
ていきます。とても助かります。その他、おもちゃや文房具をいただきました。

今後の支援に活かしていきます。ありがとうございました。



放デイのひと一言

あんずの放デイの初めての4月が終わり、初めての5月を迎えます。

“あっ”という間の1か月だったような…。新しく入った人たちは、あんずは居心地の良い場所になったでしょうか。先輩となる人たちの「ひとつ大きくなったんだ!」と、はずむ心を上手く4月に橋渡してきたかな、と毎日それぞれの姿を思い浮かべながら振り返っていました。大人も4月は、いい緊張感でした。年齢の幅も少し広がって、人数も少し増え、顔ぶれも少し変わり、曜日ごとの雰囲気も新たになりました。先輩が後輩のことを気かけたり、遊びを真似したり、3、4人で机を囲む姿にも新鮮さがあります。

さあ5月、初夏です。ポケットにハンカチは入っていますか？汗をいっぱいかいて活動や遊びを楽しみますね。



つながりリレーコラム 第8回目は、生活支援センター日向の 秋山あや さんです。

「つながっている」と実感できるときは、どんなときだろう？
ふと考えるときがあります。

つながることは大事であろうことは理解できるけど、つながっていると感じることは、そんなに簡単なことではないなあ、と思ったりします。

ちょっと自分なりに調べてみました。

「つながる」というのは、「状況」と「感情」がつながったときに実感できるのだそうです。確かにそうですね。今の世の中では、簡単につながる状況をつくる方法もあります。例えば、パソコンも携帯電話も、いつでもどこにいてもさっさと便利に使えます。

いちばん大事なのは「感情」。「受け止めてもらった」「わかってもらえた」そんな気持ちが心と心を行き来することが「つながり」を育むことなのだと思います。それは、そんなに簡単なことではない。だから、「つながっている」と感じられたときは、温かくて、ちゃんと重みを感じられて、心の支えになるのですね。

私の仕事は相談員という立場になりますので、つながりをつくっていくことも大きな役割の一つになります。ご本人ともご家族とも、他の支援機関、教育機関、行政とも、みんなとつながりながら、ご本人の「応援団」を作っていくことを目指しています。

「一人じゃないよ」そんなメッセージが心に届くように、日々、相談を重ねています。

あちこちでお話もさせていただいているのですが、「電柱の話」があります。電柱は、いくつもの線につながりながら立っています。でも、その線に電流がちゃんと通ってなければ、つながっている意味がありません。つまりは、つながる状況だけでなく、そこに温かい感情が流れるということが「つながっている」ということになるのだと、改めて思いました。

そんな温かいつながりを、これからも作っていければと思います。

